



2014年 日本晴復活プロジェクト

■ 日本晴の一大産地を目指して ■

今、何故日本晴なのか？

現在、日本の稲作農業は大きな方向転換を求められています。TPP（環太平洋経済連携協定）交渉が進められる中、関税撤廃や削減の動きがあり、国際価格に比べて高い日本の米は、自由競争にさらされる恐れがあります。あわせて、食の欧米化が進み、米の消費は年々減ってきているのが現状です。

これらのことから、特別栽培コシヒカリのように価格が高くとも、生産者の個性が強く感じられ、より安全・安心である米の販路開拓を進める一方で、これからの市場の需要に応じた、多用途な米づくりを目指していく必要があります。

JA越前たけふでは米の卸売業者や外食産業への直接販売を行っており、それらの実需者からは、すし米や丼物、掛け米として、現在では希少品種となりつつある「日本晴」の引合い要望が多くあることから、TPP交渉妥結、5年後の減反廃止を見越して、「日本晴」の生産販売を中長期的に強化する「**日本晴復活プロジェクト**」を実施し、激化する産地間競争の中で生き残りを目指すこととしています。

稲作農家の皆様には、品質ならびに収入向上と作期分散の品種として26年産の作付をお願いするとともに、そのためのマーケティングと挑戦こそがJAの本来あるべき姿だと考えています。

日本晴の作付拡大に向けて

近年コシヒカリでは、田植え時期の繰り下げによる高温登熟対策に取り組んでいますが、栄養成長期(6月～7月)の気温が高く推移することから、予想よりも早い出穂を招き、平坦地においては白未熟粒の多発による品質低下が著しくなっています。平坦地の農家の方には、販売収入も少なくなるため(右記参照)、コシヒカリよりも比較的高温登熟に強い「日本晴」の作付などで作期の分散を図りながら、コシヒカリについては従来どおりの出穂期を遅らせる対策の見直し(5月下旬田植え)が必要です。



コシヒカリ2等の場合 反収 540kg/10% ⁻	日本晴1等の場合 反収 600kg/10% ⁻
99,000円	105,000円

参考：25年産内金単価

品種別作付比率(計画) 日本晴作付 26年200ha⇒30年1,000ha

年度	品種	早生	中生	晩生		その他うるち
		ハナエチゼン	コシヒカリ	あきさかり	日本晴	
現在		28%	60%	9%	-	3%
平成26年		28%	60%	3%	8%	1%
平成30年		20%	40%	-	40%	-

平坦地では



多用途な日本晴
の作付を拡大

山間地では



特別栽培 コシヒカリ
の作付を拡大

26年産日本晴の買入価格



1等もしくは2等の場合 ハナエチゼン・あきさかりより

1俵あたり 500円(内金)加算支払

カントリー施設でも集荷対応します。

特別栽培米のインセンティブ買入制度

～猛暑・高温でも品質の良い山間地のコシヒカリは特別栽培へ～

インセンティブとは

人や組織のモチベーション(やる気)を誘引するもの。代表的なものとして金銭的報償、社会的評価、自己実現の場の提供などがある。

金銭的報償には、基本的な対価のほかに、個人の成果が目標に対する達成度などの基準を満たした場合、それに応じて個人に支払われる「インセンティブ・システム」がある。



■ 福井県特別栽培農産物認証制度 ■ ～安全・安心を食卓へ～

初心者コース 認証区分 ④

農薬：当地比5割以上減

化学肥料：当地比5割以上減

農薬成分や化学肥料の窒素量を通常と比べ5割以上削減して栽培した農産物。



中級コース 認証区分 ③

農薬：当地比5割以上減

化学肥料：栽培期間中不使用

農薬成分を通常に比べ5割以上削減して、化学肥料窒素を使用しないで栽培した農産物。



インセンティブ買入制度の対象は、県の認証についてJA越前たけふの団体申請、指定農薬成分以内の使用を行った「コシヒカリ」のみとします。整粒歩合や食味値を測定するため、倉前出荷(良質米施設を含む)が原則ですが、認証区分④の移植栽培については、東部カントリーと今庄ライスセンターで受入れ致します。

■ 特裁コシヒカリのインセンティブ買入制度 ■ ～いいものには良い評価を～

平成26年度の水稻生産にあたり、特別栽培コシヒカリの高品質・高食味米について以下のとおり買入(概算金、加算金の支払い)を行います。

単位：1俵あたり

品種	1等		左記以外	2等
	整粒判定 70%以上			
	食味値 85以上	食味値 80以上 85未満		
特別栽培 コシヒカリ	17,000円 概算	15,000円 概算	慣行比 500円 加算	

※ インセンティブ買入制度については、国の農業政策により著しく相対価格が変動した場合には、今後見直しすることもございますので、ご了承願います。